

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）支払請求書

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

所属研究機関・部局・職

研究代表者

氏 名

印

さきに交付の決定の通知があった科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））のうち、平成30年度分について、下記により概算払で支出して下さるようお願いいたします。

記

1 課題番号

--

2 補助事業期間 平成 年度～平成 年度

3 請求額

	直接経費の額	間接経費の額	合計
平成30年度所要見込額（A+B）	円		
平成29年度未使用見込額（A）	円		
平成30年度請求額（B = a + b）	円	円	円
うち前期分（4月～9月）請求額（a）	円	円	円
うち後期分（10月～3月）請求額（b）	0円	0円	0円

注）直接経費の平成30年度所要見込額（A+B）が300万円未満の場合は全額前期分に計上し、300万円以上の場合は前期分（a）と後期分（b）を分けて記載すること。

ただし、国際共同研究加速基金については、前期分（a）と後期分（b）を分けずに記載すること。

また、上記科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）の受領方を

研究機関名（注）： （ ）

研究機関代表者職・氏名：

に委任いたします。

注 学校法人理事長に助成金の受領を委任する場合には、研究機関名に大学名とともに（ ）書きで学校法人名を記入すること。大学長に助成金の受領を委任する場合には、大学名のみ記入すること。

様式 F-2別紙1 (補助事業者一覧)

課題番号	
------	--

補助事業者	研究者番号	機関番号	部局番号	職番号	当該年度の役割分担等 〔本年度の分担事項等を具体的に記入すること。〕	当該年度の エフォート (%)	当該年度の 直接経費の 所要額 (研究者別 内訳) (円)	当該年度の 直接経費の 請求額 (研究者別 内訳) (円)
	氏名	所属研究機関・部局・職						
研究 代表 者								
研 究 分 担 者								
補助事業者合計 (小計)		名			直接経費合計 (小計)			

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

様式 F-2 別紙 2 (変更後の交付 (予定) 額及び研究実施計画)

※この別紙 2 は、交付申請書等に記載の直接経費の額を変更する場合のみ作成、添付してください。

課題番号	
------	--

(直接経費の額を記載)	平成	年度										
交付申請書等に記載の額							—		—			—
変更後の交付 (予定) 額							—		—			—
(直接経費の額を記載)	平成	年度	合計									
交付申請書等に記載の額		—		—		—		—		—		
変更後の交付 (予定) 額		—		—		—		—		—		

(1) 前倒し支払請求の必要性、前倒しを求める背景

(2) 後年度の交付予定額を減額しても研究目的を達成できる理由

本年度以降の研究実施計画

新たに購入する予定の主要な物品の内訳 (1 品又は 1 組若しくは 1 式の価格が 50 万円以上のもの)

品名	仕様 (製造会社名・型)	数量	単価 (円)	金額 (円)	納入予定時期
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月
					平成 年 月

(注) ・印刷に当たっては、A4 判 (縦長) ・両面印刷すること。